
平成19年3月期 決算説明会

平成19年5月15日

株式会社 **ハイマックス**

証券コード：4299 東証2部

<http://www.himacs.jp/>

1. 決算概要
2. トピックス
3. 次期業績予想
4. 優先課題への取組み

1. 決算概要

損益計算書(連結)

1. 決算概要

	H18/3期		H19/3期		比較増減		(百万円)	
	(構成比率)		(構成比率)		(額)	(率)	期初予想 (H18.5.12発表)	(達成率)
売上高	8,382	100.0%	8,555	100.0%	+ 173	+ 2.1%	8,800	2.8%
金融向け	5,005	59.7%	5,649	66.0%	+ 644	+ 12.9%	-	-
非金融向け	3,377	40.3%	2,905	34.0%	471	14.0%	-	-
売上総利益	1,726	20.6%	1,963	23.0%	+ 237	+ 13.8%	-	-
販管費	1,064	12.7%	1,257	14.7%	+ 192	+ 18.1%	-	-
営業利益	661	7.9%	706	8.3%	+ 44	+ 6.7%	-	-
経常利益	662	7.9%	710	8.3%	+ 47	+ 7.2%	685	+ 3.7%
当期純利益	366	4.4%	386	4.5%	+ 19	+ 5.4%	370	+ 4.5%

損益計算書(連結)

1. 決算概要

	H18/3期		H19/3期		増減額	(百万円)
	(構成比率)		(構成比率)			
売上高	8,382	100.0%	8,555	100.0%	+ 173	【利益増加要因】 ✓売上高増による向上 ✓プロジェクト管理及び生産性向上による原価低減 ✓開発管理体制強化及び販売力向上の為人件費が販管費にシフト
売上総利益	1,726	20.6%	1,963	23.0%	+ 237	
販管費	1,064	12.7%	1,257	14.7%	+ 192	【費用増加要因】 ✓会計制度変更 ✓開発センター等部署新設及び強化 ✓販売力向上の為人件費増
営業利益	661	7.9%	706	8.3%	+ 44	
経常利益	662	7.9%	710	8.3%	+ 47	
当期純利益	366	4.4%	386	4.5%	+ 19	

2. トピックス

事業分野別売上高(連結)

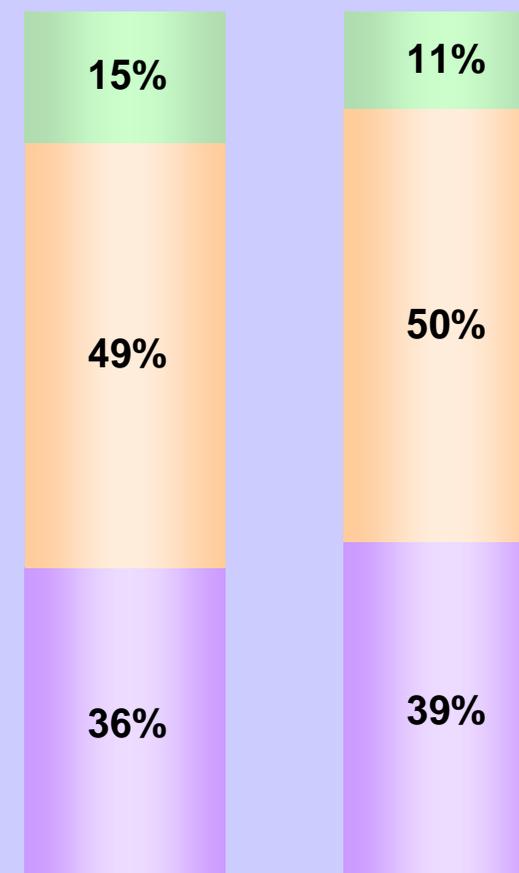
2.トピックス

継続した
メンテナンスサービスを獲得

(百万円)

事業分野	H18/3期	H19/3期	増減率
システム インテグレーション	1,228	922	24.9%
システム メンテナンス	4,131	4,317	+ 4.5%
プロフェッショナル	3,022	3,316	+ 9.7%
合 計	8,382	8,555	+ 2.1%

構成比の比較



H18/3期

H19/3期

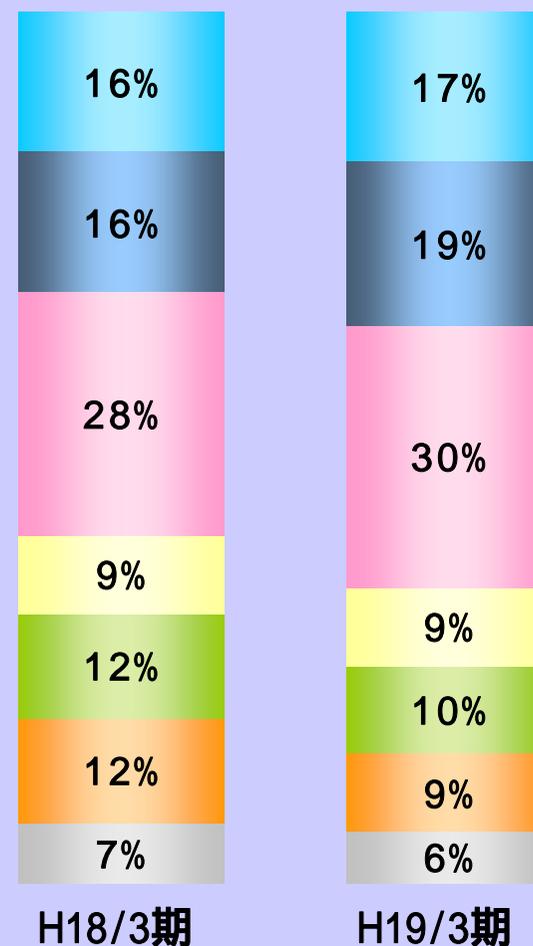
業種別売上高(連結)

金融業界向け案件に注力

(百万円)

業種	H18/3期	H19/3期	増減率
銀行	1,339	1,481	+ 10.6%
証券	1,308	1,636	+ 25.1%
保険	2,357	2,531	+ 7.4%
公共	779	760	2.4%
流通	1,033	869	15.8%
クレジット	1,031	749	27.3%
その他	532	525	1.3%
合計	8,382	8,555	+ 2.1%

構成比の比較



業種別トピックス

2.トピックス

銀行
(前期比 + 10.6%)

都銀及び地銀向けの案件を複数のSier経由で獲得

証券
(前期比 + 25.1%)

複数のSier経由の大手証券会社向け案件が拡大
既存エンド・ユーザーの新規開発案件に参入

保険
(前期比 + 7.4%)

既存Sierとの取引は、引き続き堅調
エンド・ユーザー向けが拡大

公共
(前期比 2.4%)

Sier経由の鉄道及び電力向け新規案件に参入
航空の既存エンド・ユーザー向け案件がピークアウト

流通
(前期比 15.8%)

Sier経由の大手スーパー向け案件はメンテナンスフェーズに移行
採算性及び今後の拡大案件を吟味し受注

クレジット
(前期比 27.3%)

既存エンド・ユーザー向けは堅調に拡大
Sier経由の大型案件がピークアウト

【Sier:構成比率72%、前期比 0.4%】

- 主力の金融業界向けは、+14.4%
 - ・銀行及び証券向け案件でSierとの取引拡大
 - ・取引領域を広げ安定受注の拡大に注力
- 鉄道及び電力向け案件に参入
- クレジット向けの大型案件がピークアウト

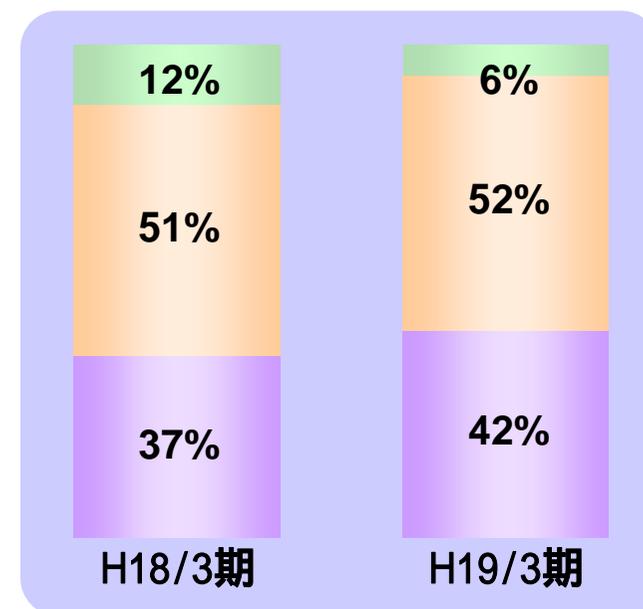
【エンド・ユーザー:構成比率28%、前期比+9.1%】

- 金融業界向けは、+6.1%
 - ・保険業界のエンド・ユーザーとの取引拡大
 - ・証券情報配信企業との取引拡大
- クレジット向け案件の拡大

受注の状況

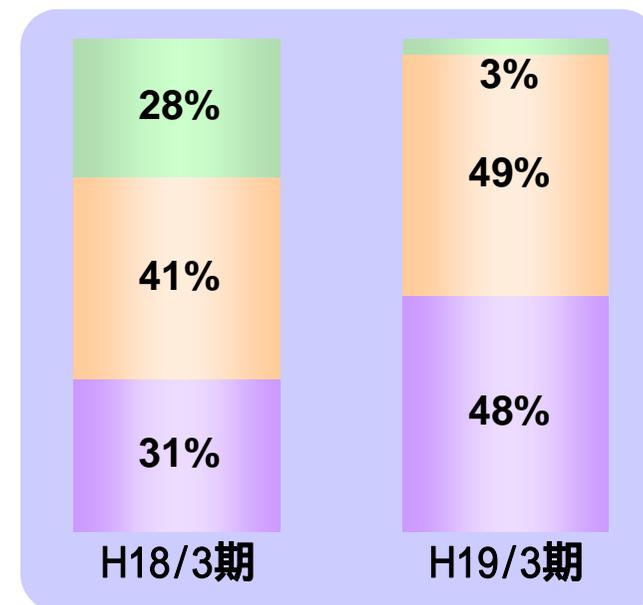
(百万円)

受注高	H18/3期	H19/3期	増減率
システム インテグレーション	1,046	537	48.7%
システム メンテナンス	4,352	4,320	0.7%
プロフェッショナル	3,098	3,447	+11.3%
合計	8,497	8,305	2.3%



(百万円)

受注残高	H18/3期	H19/3期	増減率
システム インテグレーション	424	39	90.7%
システム メンテナンス	625	628	+0.5%
プロフェッショナル	480	611	+27.3%
合計	1,529	1,279	16.3%



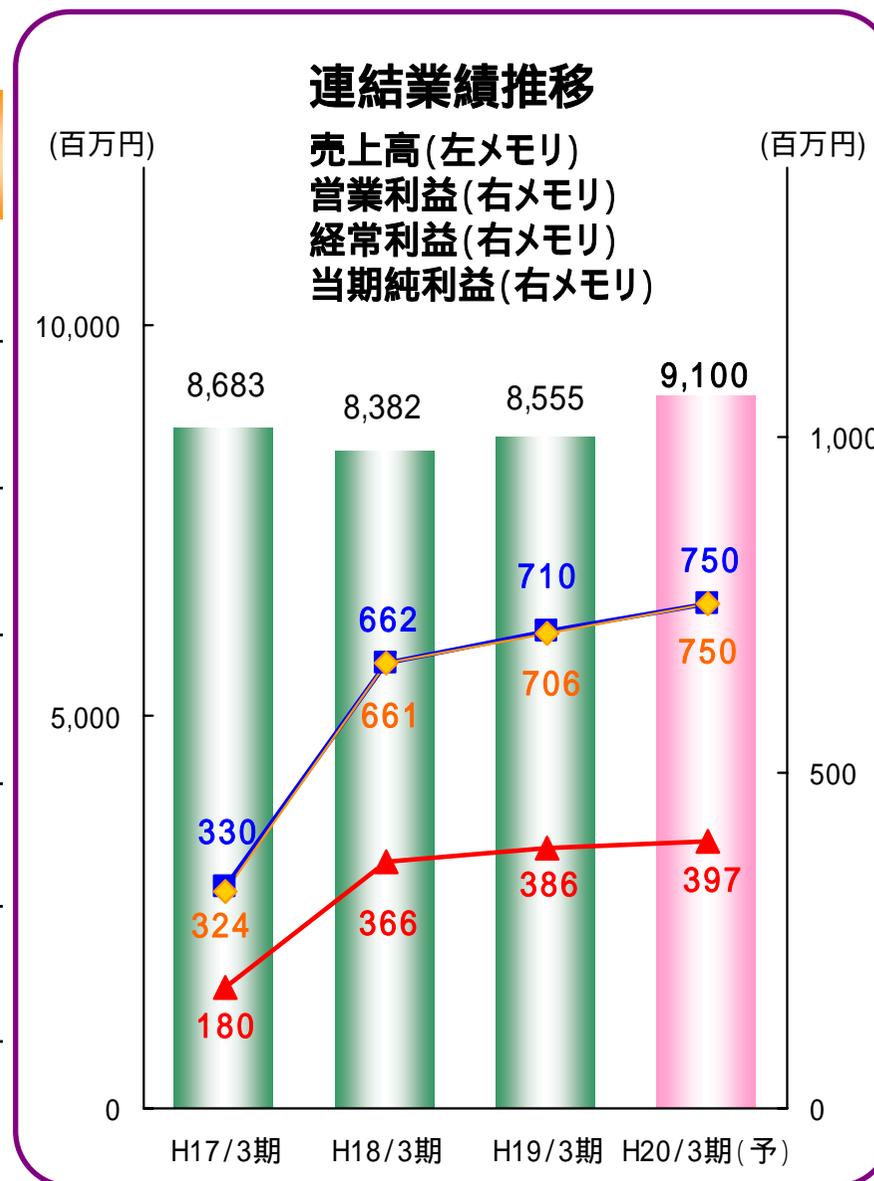
3. 次期業績予想

平成19年3月期業績予想(連結)

3. 次期業績予想

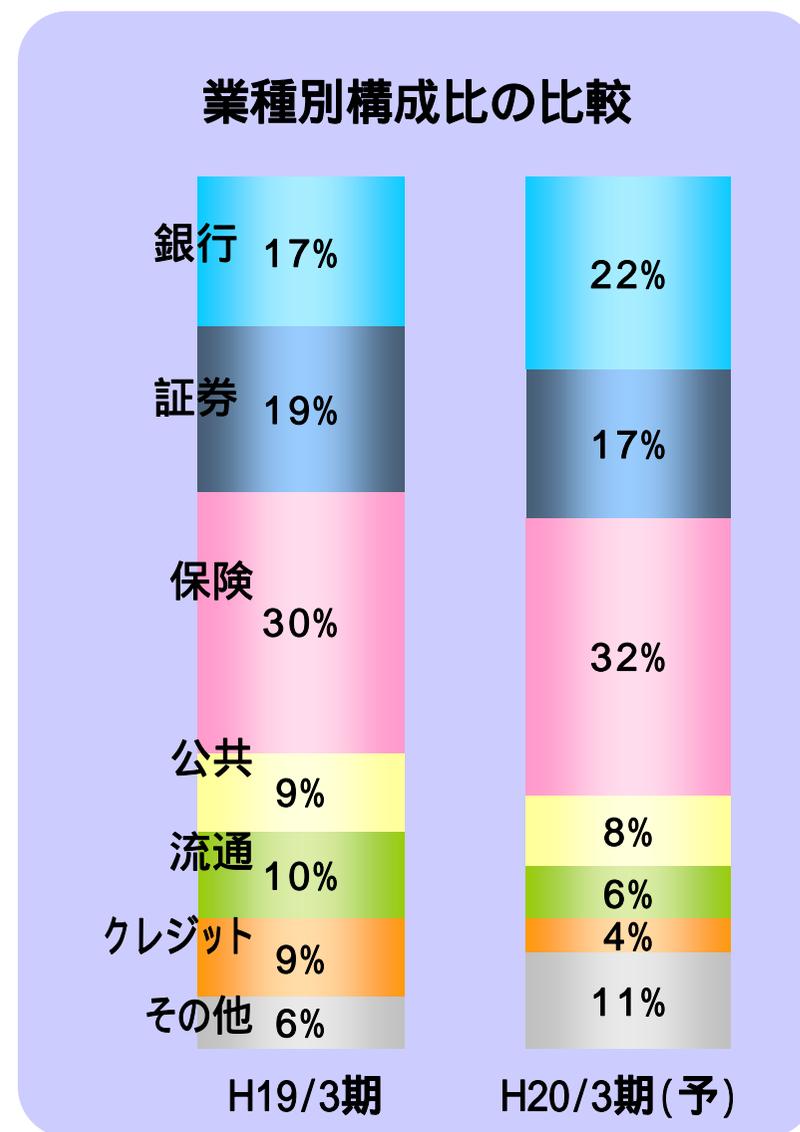
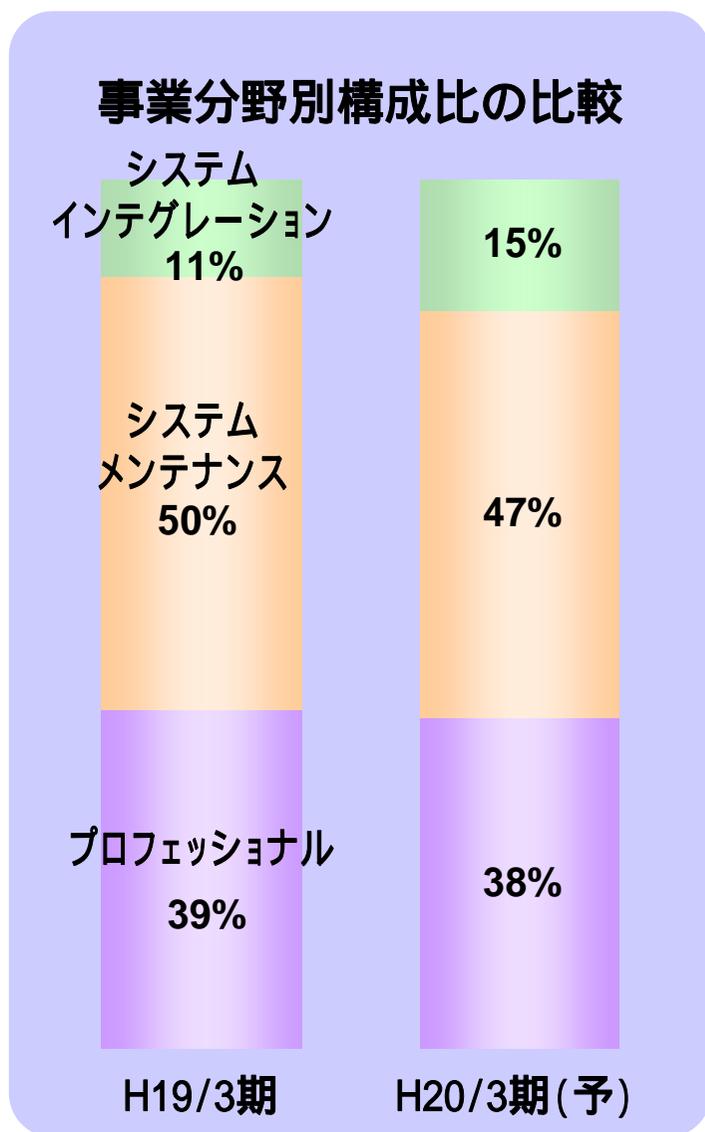
	(百万円)		
	H19/3月期 実績	H20/3月期 予想	増減率
売上高	8,555	9,100	+ 6.4%
営業利益 (利益率)	706 (8.3%)	750 (8.2 %)	+ 6.2%
経常利益 (利益率)	710 (8.3%)	750 (8.2 %)	+ 5.6%
当期純利益 (利益率)	386 (4.5%)	397 (4.4 %)	+ 2.7%
EPS	64.18	66.55	-
配当	通期30円 中間20円	通期20円 中間10円	-

H19/3月期実績の中間配当には
創立30周年記念配当10円含む



事業分野・業種別売上高構成比

3. 次期業績予想



各業種の動向

銀行
(構成比 22%)

前期に参入した複数Sier経由の案件が拡大
証券代行業務関連の拡大

証券
(構成比 17%)

幅広い業務知識を活かし、
前期からの継続案件を堅調に受注

保険
(構成比 32%)

生保の個人保険、損保の損害調査、
インターネット販売業務等を軸に、Sier経由の案件が拡大

公共
(構成比 8%)

航空系のエンド・ユーザー及び
鉄道、電力向けの案件は、前期比横ばい

流通
(構成比 6%)

Sier経由の大手スーパーグループ向け案件は、継続受注
エンド・ユーザーの大型案件がピークアウト

クレジット
(構成比 4%)

長期大型案件の収束
新規顧客開拓に注力

4. 優先課題への取組み

〈H19/3期実施事項〉

受注の拡大

- ✓ 事業部門を業種別に再編
- ✓ 営業支援強化

プロジェクト管理の強化

- ✓ 経営管理室の独立

人材の育成

- ✓ 上級SE育成プログラムの遂行
- ✓ 開発センターを新設
 - ・新卒者へのJava、.Net等の導入教育実施
 - ・実践的技術者の育成

新規事業の開拓

- ✓ ビジネス開発室の新設

営業力を強化し受注の拡大を図る

➤ 事業開発本部の新設

Sier企業への受注拡大ルート

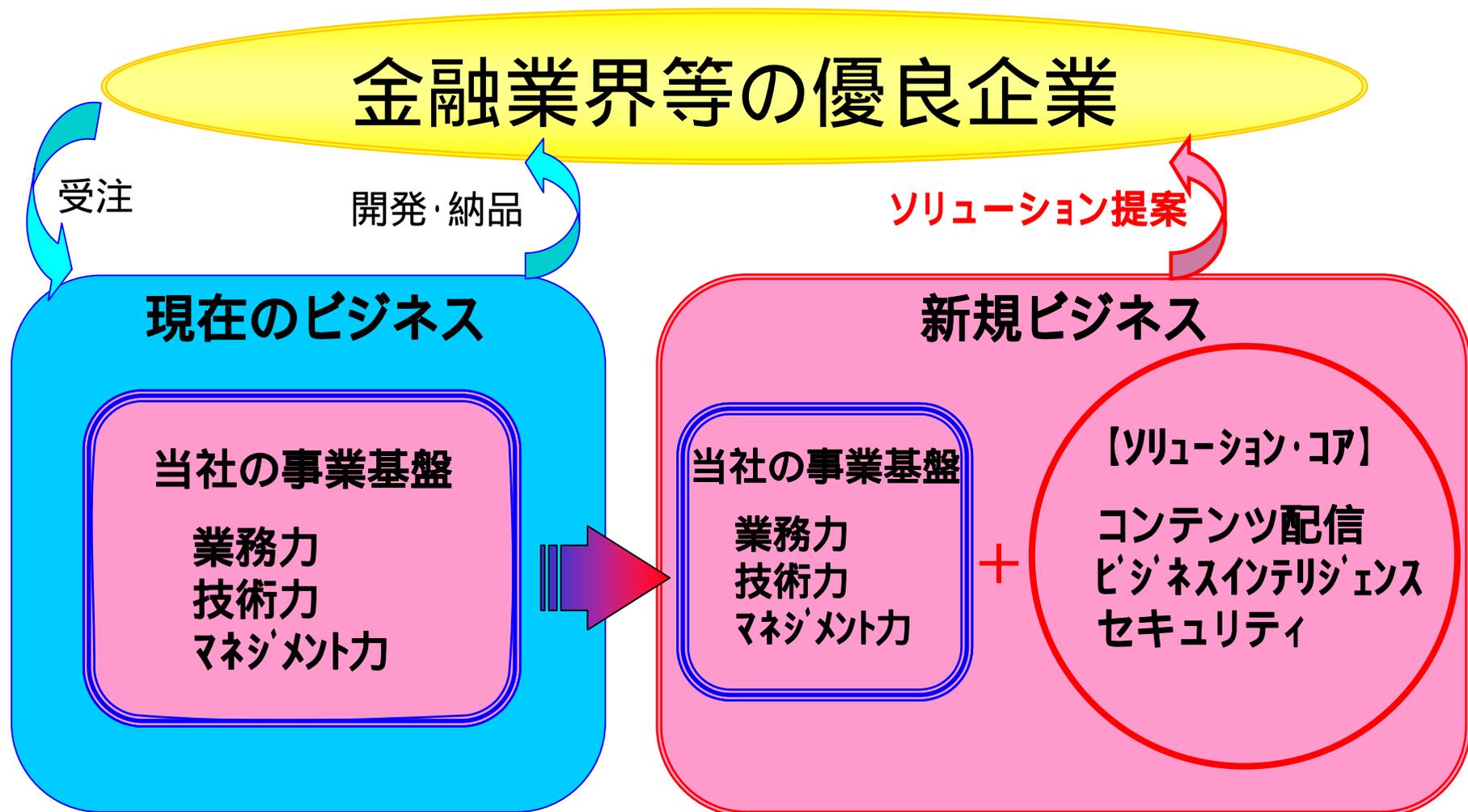
- ・例えば銀行業務で認めてもらい、次に証券案件にも参入
- ・最終エンド・ユーザーが同じでも、複数のSier経由で参入

大手Sierからの要望

- ・ハイマックスとして、100名、300名体制を作って欲しい

主要大手Sier5社に対し、受注拡大の為の責任者を配置
業種及び顧客を横展開して受注の拡大を図る

営業力を強化し受注の拡大を図る



プロジェクト管理の徹底

- 各事業本部内における品質・コスト・進捗のリスク管理徹底
- プロジェクト管理室(旧 経営管理室)のタスクの明確化
- システム・インテグレーションサービス比率向上に対応し、見積・契約時点におけるリスク管理にプロジェクト管理室も参画

人材の確保と育成の強化

- 新卒・キャリア採用は全社を挙げて推進
- 「教育委員会」設置
 - ・必要とされる人材像及び教育体系の明確化
 - ・教育カリキュラムの充実
- 国内及びオフショアのビジネスパートナーと連携

本資料には、株式会社ハイマックスの将来の業績見通しが記載されております。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化し得ることをご承知おき下さい。

平成19年3月期 決算説明会

平成19年5月15日

株式会社 **ハイマックス**

IRに関するご質問・お問合せ先
経営企画室 045-201-6655